

(規則) 様式第7 (第7条関係)

政務活動費成果報告書

令和6年2月14日

犬山市議会

議長

柴田ひろゆき様

議員名 柴山一生

下記のとおり、_____の成果を報告いたします。

| | |
|-----------|--------------------------------------|
| (1) 年月日 | 令和6年1月31日(水) ~ 令和6年2月14日(木) (泊2日) |
| (2) 場所 | 早稲田大学 |
| (3) 形態 | 会派 (清月) : その他 () |
| (4) 内容 | 別紙 |
| (5) 成果・提言 | 別紙 |



令和6年2月13日

犬山市議会議長
柴田浩行様

犬山市議会 清風会
柴山一生

Manifesto Awards Collection (マニフェスト・アワード・コレクション) 報告

日時 令和6年1月31日～2月1日

視察先 早稲田大学構内 井深大ホール

内容 Manifesto Awards Collection (マニフェスト・アワード・コレクション)



過去18年間のマニフェスト大賞獲得者(一部)が一堂に会してその成果報告をする。個人的には、犬山市の大賞とその後の議会のあり様にずれも感じていたので、このマニ研の価値を見極めるためにも今回参加した。

結論としては、北川理事長の国政の体たらくを眼前に、地方議会に対する、期待の強さを感じ、自身、これからの政治は地方が主導すべきという最近の確信を北川氏同様さらに強化する機会であると思ったので、これからも継続的にかかわっていきたいと思った。また、具体的な取り組みは大変興味深く、犬山でも試してみる価値のあるものもあったと感じた。

また、アワード後の意見交換会もリアルに発表者と言葉を交わすことができ大変有意義

であった。こういった、地方議員向けの啓発団体はいくつかあるが、ここがはやり抜きんで
 ていると感じた。

具体例

① 北海道鷹栖町

ここは、片山兵衛さんの力で議会の宣伝力を1000倍にしていると感じた。それと共に、
 議員が皆仲良さそうで、片山さんのリーダーシップについて行っているようだ。議会のお知
 らせをYouTubeにあげ、笑点をもじって「争点」として出している。また、週刊誌の中刷り
 や東宝映画のポスター張りの広報誌を作っている。

ただ、その中身は、どこの自治体にもある案件で、それはそれで、現実。

ともかく、一切興味を示されなかった議会に町民の目を向けるということにおいては大成
 功していた。

「通信簿」に議員戦慄!? 議員の質問を5段階で評価
 傍聴者=採点者
 決算審査も2019面白い!
 令和元年度予算
 町制50周年記念式典開催
 特定健診とがん検診の
 初回受診時無料化
 熱夏フェスタに
 あの大物歌手が!!
 防災無線設備の実地設計
 あったかファームで
 トマトの養液栽培開始
 あの事業は今!?
 結果は?今案は?
 今年質問するのはこの7人!
 米価下落?米農家収入減の対応は
 公共施設 安全対策を周知
 ウイズコロナ 完結するまちづくりを
 大石町議長の問いかけ
 議員 青野が熟練の議論
 「教職員の時外勤務」議論
 「職員配置」仕事量のバランス
 「働き方改革」どう進める
 マスク着用 手指消毒など協力を
 コロナ対策に努めます!!
 時短 姥ちゃん 規定の整備を
 法定担当係員に増員しては
 コロナ対策 第1回の検証は
 プレミアム付も商品券
 川原 養液栽培開始
 牛乳券 未採点
 今年質問するのはこの7人!
 米価下落?米農家収入減の対応は
 公共施設 安全対策を周知
 ウイズコロナ 完結するまちづくりを
 大石町議長の問いかけ
 議員 青野が熟練の議論
 「教職員の時外勤務」議論
 「職員配置」仕事量のバランス
 「働き方改革」どう進める
 マスク着用 手指消毒など協力を
 コロナ対策に努めます!!
 時短 姥ちゃん 規定の整備を
 法定担当係員に増員しては
 コロナ対策 第1回の検証は
 プレミアム付も商品券
 川原 養液栽培開始
 牛乳券 未採点
 鷹栖町議会 9月定例会ご案内
 熱論3DAYS
 この緊張感は議事録じゃわからない
 9/16(水)17(木)18(金)
 お問い合わせ 鷹栖町議会事務局 電話:87-2111

予備金減る大攻防戦?
 YOSANI GIKAI
 議決/予備金削減賛成多数
 大石 兵衛 片山 兵衛 山崎 隆 山崎 隆 山崎 隆
 大石 兵衛 片山 兵衛 山崎 隆 山崎 隆 山崎 隆

② 茅ヶ崎 こども選挙

令和4年10月30日の茅ヶ崎選挙にあわせ、子供達にも投票を通して、主権者意識を醸成したいという思いで開催。

当然ながら、模擬投票の禁止や、子供の選挙活動への制限などが公職選挙法で決められているので、抵触しないよう実施された。

公募で集まった小学生から17歳までの子供たち15人が選挙前二か月間ワークショップでこども選挙の準備をした。

選挙前にビデオで三つの質問を三候補者に送り、ビデオで回答をもらって、投票所でもそれを視聴できるようにし、子供達が投票した。

結果、600人弱の投票があって、大人の選挙と結果は同じになった。

子どもたちは、投票と共にどうしてその候補者を選んだかをメッセージを書くこともでき、候補者はそれを読むことができた。次点の候補者は涙を流してそれを読んだということだった。

子供たちの選挙後の感想は、前向きなものばかりで、茅ヶ崎が住所に過ぎなかったのが、自分事として茅ヶ崎の未来などを考えるようになったというような意見があった。

18歳になって自動的に投票権を与えられても、投票率にあまり良い結果は出ていない。やはり、小さなころから、自分の住む地域について「ほんちゃん」で考えることのできる機会を作ることは重要だろう。

こども選挙は、茅ヶ崎市に続いて、壱岐市、藤沢市、海老名市などが開催、あるいは開催予定している。

③ 新城市 若者会議

この施策には驚きばかりでしかない。市長の諮問機関として若者会議を位置づけ、16歳から29歳までの若者20名を4月から大気1年で予算上限1000万円任期で事業を新年度に向けて提案してもらおう。

月に3、4回夜間集まって事業案を練るが、高校生は受験、一般は仕事があるにもかかわらず、本当に委員は集まるのかとおもったが、既に平成27年から来年で10期目となるそうだ。

参加した若者にとっては大変な刺激になると思うし、主権者教育というよりも、予算がついているので、既に主権者として「ほんちゃん」の活動をしているといえる。

犬山市への提言

議会の広報の最先端を鷹栖議会は展開していると思われる。犬山市議会広報も是非頑張ってほしい。

こども選挙や若者議会は、主権者教育をどのようにすべきかの議論に入ったばかりの犬山市議会には大変参考になるケースだと思われるので、しっかり学んでいくべきだろう。今年度は、市内の二つの高校でフリースピーチを行うということだが、高校生への支援の分厚さは新城市とは大きな差があるし、特に予算をつけるという決定打を欠くので、どれだけ高校生が真剣になってくれるか難しいかもしれない。

市内の高校を中心に主権者教育していくにしても、中学にターゲットを絞るにしても、継続的に体系的に施策を練らないことには、線香花火的にやっても先方に負担を課すだけになる可能性もある。